






















# 業種別景況予測

## 2026年1月～3月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「廃業が相次ぐ中、事業の継続が心配。サプライチェーンが途切れかけている。(紡毛糸製造業)」 「昨年に続いて寝具の購買意欲は低迷しており、実店舗での売上は厳しいが、カタログ販売、EC販売は好調。納入率UPの交渉も功を奏し、収益力はやや上向きになっている。(毛布製造業)」などのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「暖冬の影響により、得意先も仕事量が減っている。(捺染加工業)」 「円安の影響により苦戦している。(繊維品卸売業)」とのコメントが寄せられた。			
工業			「販売先における人員不足や働き方改革の影響により労働時間が減少しており、工期の遅れが生じた結果、販売量の低下につながっていると思われる。(鉄鋼業)」 「賃金等高騰分の値上げを吞んでくれるものの発注が継続されるかは業界の景気次第。通年では数量減少、地政学リスクが上昇し先読みが難しい。(工業用薬剤製造業)」とのコメントが寄せられた。			
建設			「引き続き、人材不足が続いている。(警備業)」 「新築、リフォームともに減少。先行きが不安。(塗装業)」 「購入客が減少。悪くなる状況になりそう。(不動産業)」 「建築確認申請が遅く現場に影響が出ている。(総合建設業)」とのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「運送業者が多すぎる。運賃の下落。(運送業)」 「仕事量としてはそれほど減少している感はないが、ドライバー不足により回転率の悪さが気になる。(運送業)」 「中国の景気悪化に伴い輸出が減少している。今後の対中摩擦を注視する必要がある。(倉庫業)」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「代理店の募集体制について適正化が図られるのではないかと予想される。(生命保険会社)」 「厳しい状況が続いており、不断の努力が必要。(土業)」 「IT化が進み、機械の導入など経費が高額になってきた。人材も不足している。(土業)」とのコメントが寄せられた。			
一般商業			「昨年の不作の影響が(野菜全般)今になって出ており、仕入価格が高止まりしている。(青果物小売業)」 「厳しいが、AI活用により好転の方向に向きつつある。(事務用品販売業)」 「一昨年と比較して、昨年は通年で売上げが伸びたが、今期は今のところ昨年とほとんど変化ない。しかし、4月から薬価が下がるため、5月以降厳しい状況になると思われる。(調剤薬局業)」などのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「微妙に物価の上昇が続いて苦慮している。(飲食業)」 「万博も終わり中国人のインバウンドも減り、バス・ホテルの予約が取りやすくなった。(旅行業)」 「原材料高騰により厳しい状況。(飲食業)」 「生成AIの影響により、納期短縮が可能になっている。新たな依頼も増えている。(ソフトウェア業)」などのコメントが寄せられた。			

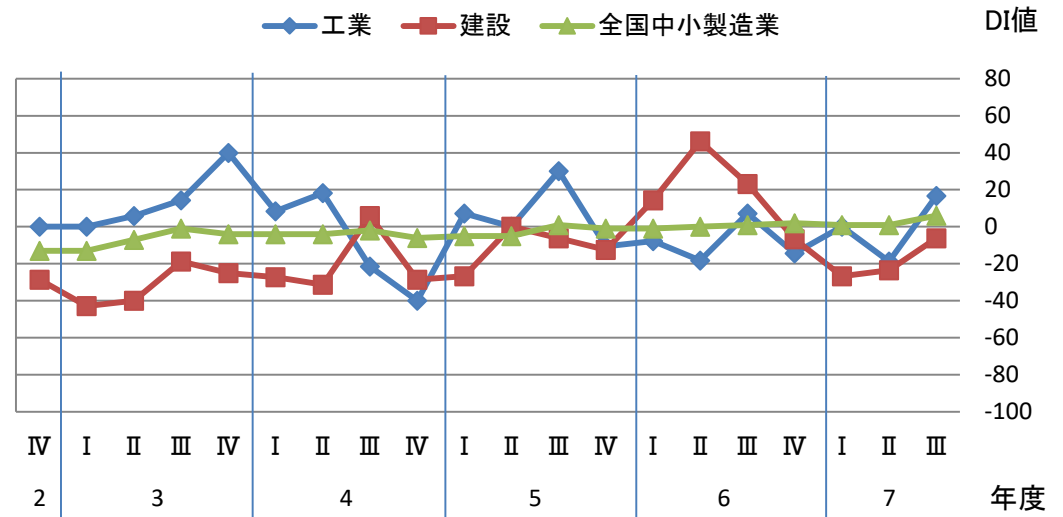
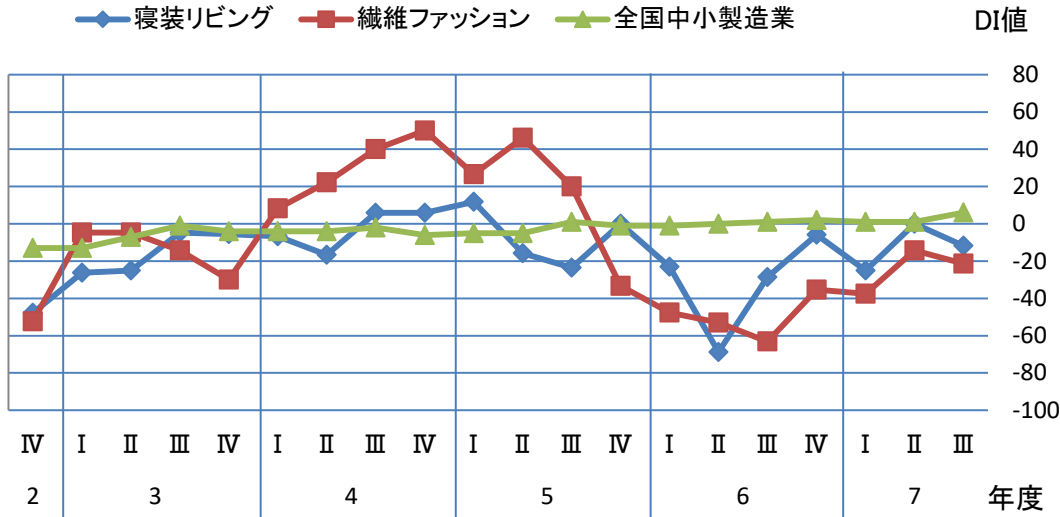
(調査概要) ●調査実施 令和8年1月 ●調査対象企業 277社 ●回答数 115社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

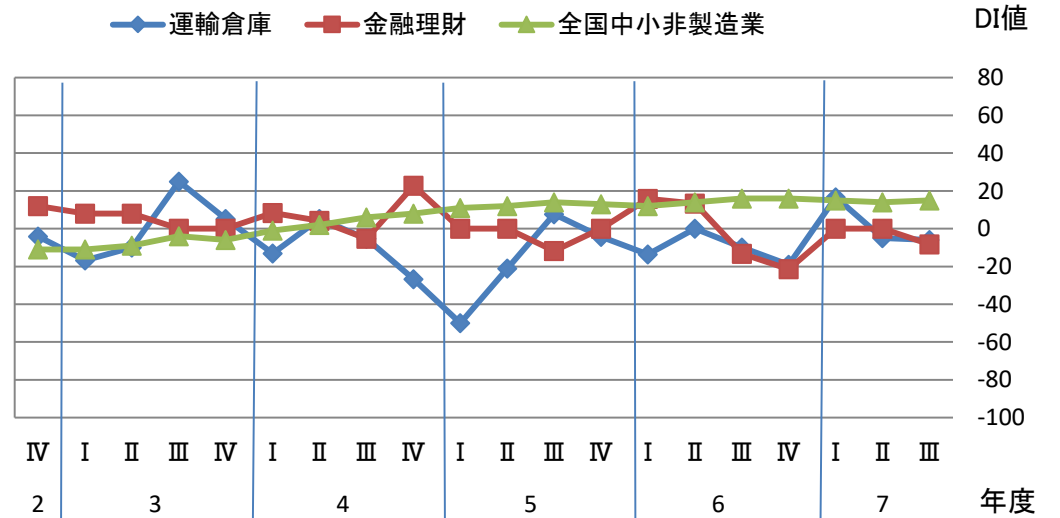
**前年同期と比較**

泉大津の全産業のDI値は、前年同期に比べやや悪化。業種別にみると、工業・一般商業は横ばい、寝装リビング業・建設業・運輸倉庫業・金融理財業・サービス商業はやや悪化、繊維ファッション業悪化となったが、個別差がある。



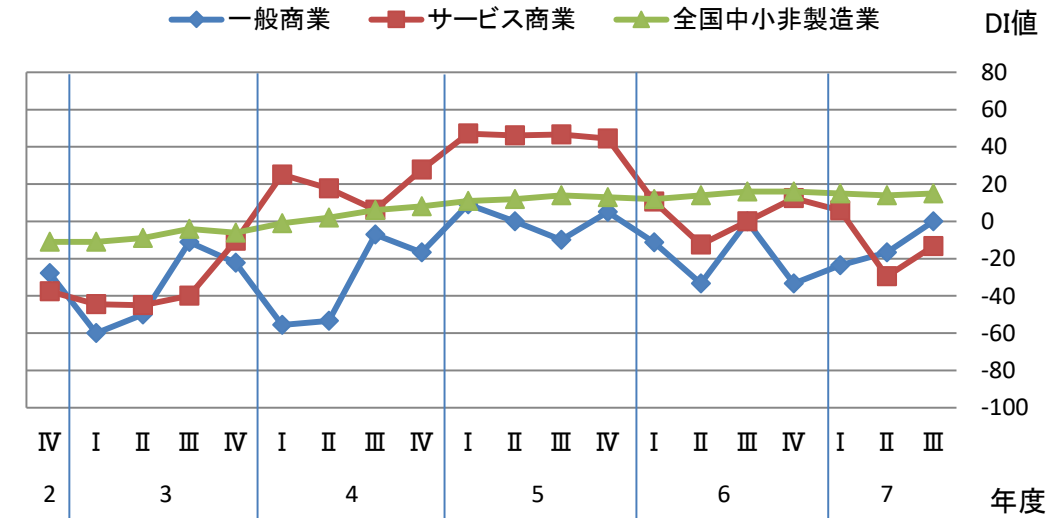
**前年同期と比較**

売上高について寝装リビング業・繊維ファッション業ともに売上・収益ともに減少傾向。何れも、加工単価・仕入価格が上昇となっている。



**前年同期と比較**

売上高について、工業・建設業何れも上昇傾向だが、仕入価格・加工単価の上昇が止まらず、収益が悪化となった。



**前年同期と比較**

売上・収益については、両業種ともに横ばい。運輸倉庫業は、引き続き運転手の確保が困難で、今後の売上への影響が懸念される。

**前年同期と比較**

売上については、両業種とも大きく変わりがないが、仕入価格上昇が止まらず、今後の収益への影響が懸念される。

※DI値: 売上状況の回答 (増加-減少=DI値)

※R2・3 新型コロナウイルス感染症拡大

I = 第一四半期 (4~6月)

II = 第二四半期 (7~9月)

III = 第三四半期 (10~12月)

IV = 第四四半期 (翌年1~3月)

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。